

# 令和6年10月17日会議概要

## 第1 日時

令和6年10月17日（木）午前9時10分から午前11時38分までの間

## 第2 出席者

在田委員長、池坊委員、森委員、森田委員、増田委員  
警察本部長、総務部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、  
警備部長、サイバー対策本部長、京都市警察部長、情報通信部長  
《書記 公安委員会補佐室室長、公安委員会補佐室室長補佐》

## 第3 議事の概要

### 1 委員報告

#### (1) パトカーに対する襲撃を想定した制圧検挙訓練（10月10日）

委員から、「3台のパトカーの連携による制圧検挙訓練であったが、非常に冷静な判断で手際よく対応されていた。実際の現場においても一刻を争う状況の中で冷静な判断や行動が求められることと思うので、このような訓練を積み重ねて力をつけていただきたい。」「訓練の成果を各署にもち帰り、署員にも広げていただきたい。」旨、発言があった。

#### (2) 援助要求に基づく特別派遣の決裁（10月15日）

委員から、石破自由民主党総裁の衆議院議員選挙応援演説に伴う警護に関し、警察法第60条第1項に基づき香川県公安委員会からの援助要求があり、本年10月15日、警察職員5人について特別派遣することを決定した旨、報告があった。

### 2 挨拶

#### (1) 公安委員長挨拶

委員から、「昨日付で委員長を任命された。府民の安心安全な暮らしを守るために警察職員が、その職責をいかに果たせるように他の委員と共に努力してまいりたい。」旨、発言があった。

#### (2) 警察本部長挨拶

警察本部長から、「様々な課題はあるが、良好な職場環境の確立も最重要課題の1つとして取り組んでまいりたい。業務を運営にするにあたり、公安委員会の管理に服するということは、大変重要なことだと考えており、我々現場目線で考えることも大事であるが、大所高所から検討することも大事であるので、様々な経験やご見識をお持ちの委員の方々としっかりコミュニケーションをとらせていただき、精一杯職責を果たしてまいりたい。」旨、発言があった。

### 3 議題

#### (1) 時代祭及び鞍馬の火祭に伴う雑踏警備の実施について

地域部長から、本年10月22日に執り行われる時代祭及び鞍馬の火祭に伴う雑踏警備の実施について報告があった。時代祭については、府警本部に時代祭雑踏警備本部を設置し、川端警察署等4警察署の現地警備本部と連携して警備に当たるもので、主要対策として、

自主警備員と連携した過密ポイントにおける観衆の整理、関係機関と連携した訪日外国人対策等の雑踏対策、平安騎馬隊等による奔馬対策のほか、突発事案対策、交通対策等を実施していく。鞍馬の火祭は下鴨署に現地警備本部を設置し、観衆の歩行者一方通行誘導と訪日外国人に対する広報等の雑踏警備を行い、事故のないよう警備に当たる旨、説明があった。

委員から、「一日に2つの大きなお祭りでご苦労ですが、安全安心に遂行されるようお願いする。」旨、発言があった。

## (2) ミニ広報紙コンクールの開催について

地域部長から、ミニ広報紙による地域情報発信の重要性を認識し、作成能力の向上を図ることを目的としてミニ広報紙コンクールを開催する旨、報告があった。令和6年11月号から令和7年1月号までの広報紙を対象に、交番の部、駐在所の部に分かれて審査を行い、それぞれ1作品を優秀作品として表彰する予定である旨、説明があった。

委員から、「ペーパーレスの時代ではあるが、直接目にすることによって情報を得ることができることに加え、地域力のアップにもつながっているので、良い形で続けて欲しい。」旨、発言があった。

## (3) 第50回衆議院議員総選挙違反取締本部の設置について

刑事部長から、本年10月15日公示、同10月27日投票の第50回衆議院議員総選挙に関し、同10月10日、府警本部及び府内全警察署に約1,000人体制の取締本部を設置し、取締を実施している旨、報告があった。また、選挙の公正の確保は警察に課せられた重大な責務であるのでしっかり果たしていきたい旨、説明があった。

## (4) 第54回全国白バイ安全運転競技大会への出場結果について

交通部長から、本年10月12日から14日までの3日間、茨城県ひたちなか市において開催された「第54回全国白バイ安全運転競技大会」における当府警察の競技結果について報告があった。惜しくも入賞は果たせなかったが、出場隊員は大健闘し、本競技会での経験やこれまでの取組をこれからの警察活動に大いに生かし活躍してくれるものと期待している旨、説明があった。

## (5) 「けいはんな経済安全保障センター」の設置について

警備部長から、過日報告した「けいはんな経済安全保障センター」について、先端技術保有企業やアカデミアに対するアウトリーチ活動等を推進するため、警備部外事課員等を常駐配置させて、本年11月1日から運用開始することとなった旨、報告があった。また、10月31日には同センターにおいて開所式を実施する旨、説明があった。

## (6) 警察本部長総括

警察本部長から、「第50回衆議院議員総選挙については、取締と同時に、警護対象者の警護という点も警察にとって大変大きな課題である。安倍元総理銃撃や、岸田前総理の襲撃事案もあり、警察として警護の在り方を大きく見直した後、今回の総選挙が初の大型国政選挙となるもので、今後、警護対象者が京都に応援にくることが十分予想されるため、警備部を中心に府警の総力を挙げて警護の万全を期して取り組んでまいりたいと考えている。」旨、発言があった。

## 4 個別決裁

(1) 京都府公安委員会に対する審査請求の裁決について（1件）

監察官室訟務官から、放置違反金に係る財産の差押え処分を受けた者（1件1名）から、原処分を不服として審査請求がなされたことに伴い、審査請求の概要等について説明があり、審議の上、審査請求の棄却を決定した。

(2) 公安委員会宛て苦情について

公安委員会補佐室室長補佐から、公安委員会宛の苦情等申出に関して、受理1件の報告があり、処理方針を決定した。また、公安委員会補佐室室長から、過日受理した公安委員会宛の苦情申出1件について、調査結果及び通知案の説明があり、審議の上、通知内容を決定した。

5 聴聞等

運転免許関係行政処分について

交通部聴聞官から、道路交通法の規定に基づく運転免許の行政処分に係る聴聞、意見聴取の結果について説明があり、13件の行政処分を審議した。

6 個別報告

(1) 新しい犯罪鑑識活動服の運用について

鑑識課資料分析担当補佐から、新しい犯罪鑑識活動服の運用について報告があった。

(2) 当面の行事予定等について

公安委員会補佐室長から、次回の公安委員会定例会議及び出席予定行事等について報告があった。